

## 循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

| 地域名 | 構成市町村等名 | 計画期間        | 事業実施期間      |
|-----|---------|-------------|-------------|
| 熊本市 | 熊本市     | H20年度～H26年度 | H20年度～H26年度 |

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

| 指 標   |                  | 現状（割合※1）<br>（平成18年度） | 目標（割合※1）<br>（平成27年度） A | 実績（割合※1）<br>（平成27年度） B | 実績B<br>/目標A |
|-------|------------------|----------------------|------------------------|------------------------|-------------|
| 排出量   | 事業系 総排出量         | 123,235 t            | 83,315 t（-32.4%）       | 92,792 t（-24.7%）       | 111.4%      |
|       | 1 事業所当たりの排出量     | 4.3 t                | 2.5 t（-41.9%）          | 2.9 t（-32.6%）          | 116.0%      |
|       | 家庭系 総排出量         | 169,972 t            | 140,272 t（-17.5%）      | 143,357 t（-15.7%）      | 102.2%      |
|       | 1人当たりの排出量        | 228 kg/人             | 169kg/人（-25.9%）        | 168kg/人（-26.3%）        | 99.4%       |
|       | 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 293,207 t            | 223,586 t（-23.7%）      | 236,149 t（-19.5%）      | 105.6%      |
| 再生利用量 | 直接資源化量           | 10 t（0.0%）           | 252 t（0.1%）            | 854 t（0.4%）            | 339.0%      |
|       | 総資源化量            | 25,895 t（8.8%）       | 36,336 t（16.3%）        | 32,335 t（13.7%）        | 89.0%       |
| 熱回収量  | 熱回収量（年間の発電電力量）   | 91,063 MWh           | 304,200 MWh            | 77,429 MWh             |             |
| 減量化量  | 中間処理による減量化量      | 229,823t（78.4%）      | 189,786t（84.9%）        | 185,281 t（78.5%）       | 97.6%       |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量          | 44,420t（15.1%）       | 5,100t（2.3%）           | 30,915 t（13.1%）        | 606.2%      |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

## (生活排水処理)

| 指 標      |                    | 現 状<br>(平成21年度) | 目 標<br>(平成27年度) A | 実 績<br>(平成27年度) B | 実績B<br>/目標A |
|----------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------|
| 総人口      |                    | 723, 707人       | 725, 151人         | 733, 638人         | 101. 2%     |
| 公共下水道    | 污水处理人口（污水处理施設整備人口） | 599, 487人       | 654, 329人         | 650, 323人         | 99. 4%      |
|          | 污水处理人口普及率          | 82. 8%          | 90. 2%            | 88. 6%            | 98. 2%      |
| 集落排水施設等  | 污水处理人口（污水处理施設整備人口） | 4, 445人         | 4, 428人           | 4, 343人           | 98. 1%      |
|          | 污水处理人口普及率          | 0. 6%           | 0. 6%             | 0. 6%             | 100. 0%     |
| 合併処理浄化槽等 | 污水处理人口（污水处理施設整備人口） | 44, 772人        | 36, 000人          | 46, 645人          | 129. 6%     |
|          | 污水处理人口普及率          | 6. 2%           | 5. 0%             | 6. 4%             | 128. 0%     |
| 未処理人口    | 污水未処理人口            | 75, 003人        | 30, 394人          | 32, 327人          | 106. 4%     |

## 2 各施策の実施状況

| 施策種別                              | 事業番号 | 施策の名称等                | 実施主体 | 施策の概要                                                 | 事業実施期間<br>(事業計画期間) | 施策の実績                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------|------|-----------------------|------|-------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発生抑制、再使用の推進に関するもの                 | 11   | 家庭ごみの有料化              | 熊本市  | 家庭ごみの有料化を導入し、事業の充実を図る                                 | H20～継続             | 平成21年10月より家庭ごみのうち、「燃やすごみ」と「埋立ごみ」において有料化を実施し、現在も家庭ごみの排出抑制の効果を得るとともに、得た歳入でごみ減量に向けた各種施策を実施した。                                                                                                                   |
|                                   | 12   | リサイクル情報プラザに利用促進       | 熊本市  | 市民を対象としたセミナー開催等活動の充実を図る                               | H20～継続             | 古着・古布リメイク講座、ペットボトルリサイクル講座などの各種講座の開催、廃油でキャンドル作りや紙すきなどの体験会を実施する。さらに講座や体験会は出前講座としても対応している。                                                                                                                      |
|                                   | 13   | マイバッグ持参及びレジ袋削減        | 熊本市  | マイバッグ持参、レジ袋無償配布の中止等によるレジ袋削減等の啓発を行う                    | H20～継続             | 大幅なレジ袋削減のためには、事業者、市民団体及び行政等がそれぞれの役割の中で連携し、全市的な取組みが必要と考え、事業者にはレジ袋有料化の直接的な部分を行っていただいた。また、学識経験者等からなる協議会を設置し、マイバッグに関するテレビコマーシャルの放送、「買い物袋持参パレード」への参加、各種イベントでのマイバッグの配布、マイバッグ持参率目標に対する進捗管理等、削減に向けた様々な取り組み・広報を行ってきた。 |
|                                   | 14   | エコショップ認定              | 熊本市  | 環境配慮店舗をエコショップとして認定しごみ減量・発生抑制の推進を図る                    | H20～継続             | ごみ減量・リサイクルの推進だけでなく、省エネルギー・省資源の推進や地産地消の推奨等、幅広く環境保全についての取り組みを進める小売店等を「よかエコショップ」として認定し、認定書の交付やショップへの支援（ステッカーやミニのぼり等PRグッズの頒布）等を行うことで、市民向けの広報啓発を行ってきた。                                                            |
|                                   | 15   | リサイクルマーケットの充実         | 熊本市  | 市民からの無償提供品を無料提供するリサイクルマーケットの充実を図る。ストックヤードを物品の保管庫として活用 | H20～継続             | 再使用可能な家具、衣類、本類など引き取り、ストックヤードに一時保管し、改善が必要な物は修繕し、衣類・本類は数量を決め希望者に随時提供している、家具は展示室で一定期間展示し、毎月、月末に譲渡会を実施している。                                                                                                      |
| 処理体制の構築、変更に関するもの<br>処理施設の整備に関するもの | 21   | 容器包装プラスチックの分別収集       | 熊本市  | 容器包装プラスチックの分別収集・リサイクルの実施方法等について検討を行い導入を図る             | H20～継続             | 平成22年10月より容器包装プラスチックの収集を開始し、現在も家庭ごみの排出抑制の効果をj得ている。                                                                                                                                                           |
|                                   | 22   | 事業系一般廃棄物の排出事業者の処理計画策定 | 熊本市  | 排出事業者での責任者の設置や減量計画の策定を進める                             | H20～継続             | 「熊本市事業系廃棄物の減量化及び再資源化に関する指導要綱」に基づき、多量排出事業者に対し、ごみ減量・リサイクル責任者の選任及び減量計画書の提出を求めている。平成22年度には要綱を改正し、対象事業者の拡大を行った。                                                                                                   |

|                   |    |                          |     |                                       |         |                                                                                             |
|-------------------|----|--------------------------|-----|---------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 処理施設の整備に関するもの     | 1  | 旧東部環境工場跡地におけるストックヤード整備事業 | 熊本市 | 再使用促進のためのストックヤード整備                    | H21～H22 | H21年9月から平成22年9月にかけて、旧東部環境工場の解体を行い、その跡地にストックヤードをH22年10月からH23年3月にかけて建設した。                     |
|                   | 2  | 西部環境工場代替施設の整備事業          | 熊本市 | 既存施設の老朽化に伴う代替施設の整備                    | H24～H26 | 既存施設の老朽化に伴い、新西部環境工場の建設をDBO方式で行い、H28年3月から稼動を行った。                                             |
|                   | 3  | 第2期扇田環境センターの整備事業         | 熊本市 | 整備計画に基づく第2期工事実施                       | H21～H24 | 最終処分場である、扇田環境センターの第2期工事を整備計画に基づき実施した。                                                       |
|                   | 4  | 合併処理浄化槽の整備事業             | 熊本市 | 生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質汚濁の防止し、生活環境の保全を図る | H22～H26 | 熊本市では浄化槽設置整備事業として平成22年度277件、23年度249件、24年度274件、25年度254件、26年度235件の合計1289件に対して補助金を交付した。        |
| 施設整備に係る計画支援に関するもの | 31 | 1の計画支援                   | 熊本市 | 1の計画支援                                | H20～H21 | H20年度に旧東部環境工場解体に伴うダイオキシン類調査、解体設計等<br>H21年度にストックヤード整備に伴う設計事業を実施した。                           |
|                   | 32 | 2の計画支援                   | 熊本市 | 2の計画支援                                | H21～H23 | H21年度に地質調査・測量、基本設計等<br>H21年度にPFI導入可能性調査<br>H21～23年度に環境影響調査<br>H22～23年度に発注仕様書等作成、事業者選定を実施した。 |
|                   | 33 | 3の計画支援                   | 熊本市 | 3の計画支援                                | H20～H20 | 第2期扇田環境センター整備事業に係る、地質調査及び、実施設計事業を実施した。                                                      |
| その他               | 41 | 適正処理困難物等対応               | 熊本市 | 販売店引取りや一般廃棄物処理業者の活用により適正処理を図る         | H20～継続  | 熊本市一般廃棄物処理基本計画に位置づけ、販売店や処理施設で適性に処理することとし、市民広報・啓発としては、ごみカレンダーに掲載して対応を強化している。                 |
|                   | 42 | 不法投棄等防止対策                | 熊本市 | 防止に関する意識啓発や監視体制の強化により不法投棄の抑制を図る       | H20～継続  | 市政だよりやホームページによる情報提供により意識啓発を強化、通報への対応と職員の迅速な現場確認、警察等の連携や、予防対策として重点地域を民間委託でパトロールを実施している。      |
|                   | 43 | 災害時の廃棄物処理に関する事項          | 熊本市 | 環境保全対策部防災計画策定済み。今後広域的連携について検討する。      | H20～継続  | 熊本市地域防災計画環境局防災計画において災害時の廃棄物処理に係る民間団体等への応援の要請について規定し、平成21年に民間2団体と災害時応急活動に関する協定を締結している。       |

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### 【ごみ処理】

高効率ごみ発電施設、ストックヤード、最終処分場については、計画とおりに整備を完了した。目標値に関しては平成26年度に富合・城南両地区を熊本市一般廃棄物処理基本計画の計画区域に取り込み、計画区域が拡大したこともあり、達成に満たない事項が多く見受けられる結果となったが、今後も熊本市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの発生抑制、資源化等をさらに推進し、循環型社会の形成に努めていきたい。

#### ○総排出量

##### （事業系）

総排出量は、目標83,315tに対し実績92,792 t、一事業所当たりの排出量は、目標2.5 tに対し実績2.9 tであり、目標は達成できなかった。要因としては、平成26年度に富合・城南両地区が本市処理基本計画の計画区域に編入され、事務所の数が増加したこと及び、事業系ごみの排出量抑制を効果的にできなかったことが考えられる。

##### （家庭系）

総排出量は、目標140,272tに対し実績143,357 tであり、目標は達成できなかったが、1人当たりの排出量は、目標169kgに対し実績168kgであり、目標は達成した。平成26年度から城南町と富合町が本市の処理基本計画の計画区域に編入された結果、総排出量が増加したことが考えられる。

#### ○再生利用量

##### （直接資源化量）

直接資源化量は、目標252 t に対し実績854 t で、目標は達成した。

##### （総資源化量）

総資源化量は、目標36,336 t に対し実績32,235 t で、目標は達成できなかった。一因としては、集団回収の実績が減少していることが挙げられる。今後は集団回収の実績増のため各種施策を実施していきたい。

#### ○熱回収量

熱回収量は、目標304,200MWh に対し実績77,429MWh で、目標は達成できなかった。要因としては、西部環境工場代替施設の整備に伴い、発電しなかった月が1ヶ月弱あったことと、試運転に伴い発電機の停止作業が発生したこと等が考えられる。今後は、効率的な運転を行い、可能な限り発電量を増やしていきたい。

#### ○減量化量

中間処理による減量化量は、目標189,786 t に対し実績185,281 t で、目標は達成した。

#### ○最終処分量

埋立最終処分量は、目標 5,100 t に対し実績 30,915 t で、目標は達成できなかった。要因としては、富合町、城南町と合併したこと、台風15号による災害廃棄物が生じたこと、事業系ごみの排出量抑制を効果的にできなかったことが考えられる。

【生活排水処理】

○公共下水道

汚水処理人口普及率は、目標 90.2%に対し実績 86.6%で、目標は達成できなかった。現在、公共下水道の整備は熊本市下水道単独事業及び国土交通省で設けている社会資本整備総合交付金制度を活用して整備を進めている。計画達成に必要な予算配分がなされなかったため、整備が遅れ目標数値に達しなかった。

○集落排水施設等

汚水処理人口普及率は、目標 0.6%に対し実績 0.6%であった。集落排水処理施設の整備は完了済みである。

○合併処理浄化槽等

汚水処理人口普及率は、目標 5.0%に対し実績 6.4%であった。今後、公共下水道の整備によって浄化槽整備区域が減少するため、合併処理浄化槽の汚水処理人口普及率も減少する予定である。

○未処理人口

汚水衛生処理人口は、目標 30,394 人に対し実績 32,327 人で、目標は達成できなかった。公共下水道の整備が遅れたことが主たる要因として考えられる。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

ごみの総排出量（事業系、家庭系）等の各指標については、市町村合併による計画区域の拡大ため、目標には到達しなかった項目があったものの、各指標とも平成18年度と比較して改善傾向にあり、各施策が一定の効果を及ぼしていると評価できます。

今後の施策については、平成28年4月に発生した熊本地震による影響（ごみ処理施設の被災、多量の災害廃棄物の発生等）が避けられないところですが、長期的にはより多くの指標で目標に到達し、さらなる循環型社会の形成推進に努力されることが望まれます。

県としても、熊本市の今後の施策を支援します。

【生活排水処理】

熊本市の汚水処理人口（汚水処理施設整備人口）は、公共下水道、集落排水施設等及び合併処理浄化槽等をあわせた平成27年度の目標値694,757人に対し、実績値で701,311人となっており、生活排水処理施設を目標を上回るペースで整備しておられます。

生活排水処理施設のうち、公共下水道についてのみ平成27年度の目標値は達成していませんが、平成21年度からは着実に増加（改善）しており、熊本市としても計画的に公共下水道の整備等の取組みを行っているものと評価します。

熊本市におかれては、平成28年熊本地震に係る被災復旧もありますが、引き続き生活排水処理施設の整備を計画的に実施していただくとともに、市民に対する単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換の啓発、そして（汚水処理人口ではあられませんが）公共下水道等については下水道等への接続率（平成27年度末で96.9%）のより一層の向上に向けた取組みを引き続き実施され、生活排水処理施策を推進していただきますことを期待します。